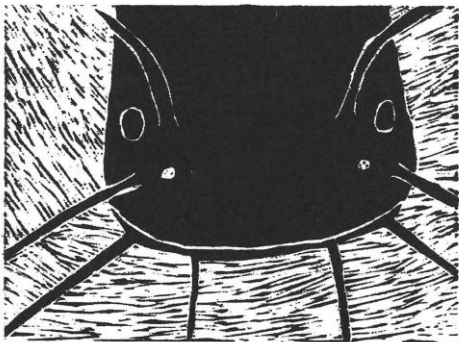


# 子どもと自然学会誌1

(第1巻 第1号)  
The Children and Nature

2004年5月28日発行



子どもと自然学会

## 子どもと自然1

第1巻 第1号 2004年5月

1-16 : 水生生物から見た東条川 (岸本 清明)

17-36 : シンポジウム 子どもにとって自然とは

### 記事

37-43 : 子どもと自然学会設立総会記録

44-51 : 子どもと自然学会設立総会報告

52-53 : 子どもと自然学会誌刊行規定

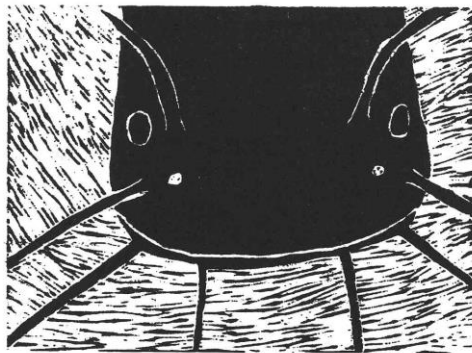
子どもと自然学会

# 子どもと自然学会誌2

(第1巻 第2号)

The Children and Nature

2004年10月28日発行



子どもと自然学会

子どもと自然学会誌 (The Children and Nature) 2 (第1巻 第2号)

2004年10月28日発行

## 目次

1-4 : 子どもの美術表現にあらわれた自然とそれを受けとめた一つの事例

(小菅 盛平)

5-13 : 小学校理科における自然観察の価値観の歴史的考察

(安東 久幸)

14-74 : 伝えたい! 水俣からのメッセージ

(奈良 智子・野島 通紀・山本 律雄・堀内 文兵)

表紙のナマズの版画は、和光鶴川小学校の結城 ゆいさん(当時4年生)が制作したもの

## 入会・購読申込み先

子どもと自然学会事務局: 286-0834 千葉県成田市和田1-4-1 吉岡 秀樹方

(電話&FAX: 0476-22-4190 電子メールアドレス: DQF10005@nifty.ne.jp)

## 寄稿等の問い合わせ

学会誌編集委員会: 262-0045 千葉県花見川区作新台1-18-5 岩田 好宏

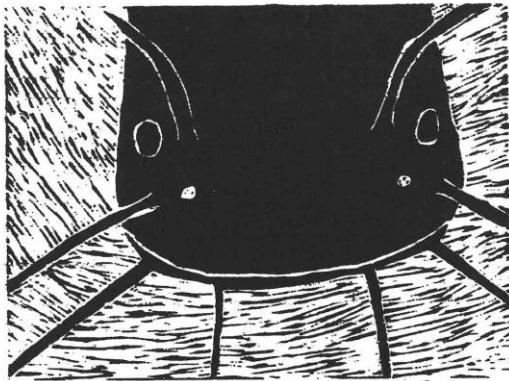
(電話&FAX: 043-259-0317 電子メールアドレス: QWR04020@nifty.ne.jp)

# 子どもと自然学会誌3

(第1巻 第3号)  
The Children and Nature

2004年10月28日発行

岐阜大会特集号



子どもと自然学会

子どもと自然学会誌 (The Children and Nature) 3 (第1巻 第3号)

2004年10月28日発行

## 目次

シンポジウム「子どもにとって自然とは」を、その基本から問い直す

2-33 : part I パネラーからのはじめの発言

清水 佳子 (環境市民ネットワークぎふ議長・「天神川を考える会」事務局)

野村 治 (京都府八幡市立八幡第二小学校教諭)

稲生 勝 (岐阜大学地域科学部助教授 科学論)

33-48 : part II part Iの発言を受けて、こう考える

折出 健二 (愛知教育大学教授 教育学)

49-61 : part III 指定発言者の発言と中間の討論

61-72 : part IV 総合討論

表紙のナマズの版画は、和光鶴川小学校の結城 ゆいさん (当時4年生) が制作したもの

### 入会・購読申込み先

子どもと自然学会事務局 : 286-0834 千葉県成田市和田1-4-1 吉岡 秀樹方

(電話&FAX : 0476-22-4190 電子メールアドレス : DQF10005@nifty.ne.jp)

### 寄稿等の問い合わせ

学会誌編集委員会 : 262-0045 千葉市花見川区作新台1-18-5 岩田 好宏

(電話&FAX:043-259-0317 電子メールアドレス : QWR04020@nifty.ne.jp)

# 子どもと自然学会誌4

(第2巻 第1号)

The Children and Nature

2005年4月30日発行

内田 章太「ナマズの婦夫」



子どもと自然学会

子どもと自然学会誌 (*The Children and Nature*) 4 (第2巻 第1号)

2005年4月30日発行

## 目次

1-12 : 公害教育研究史の点描-1970年代前半をふりかえって  
(藤岡 貞彦)

13-81 : 高校生の学習の出発点を探る  
—アンケート調査の回答と学年末テストの答案から  
(岩田 好宏)

## 入会・購読申込み先

子どもと自然学会事務局 : 286-0834 千葉県成田市和田1-4-1 吉岡 秀樹方  
(電話&FAX : 0476-22-4190 電子メールアドレス : DQF10005@nifty.ne.jp)

## 寄稿等の問い合わせ

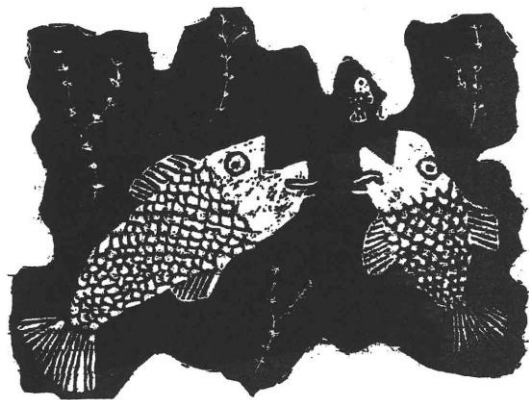
学会誌編集委員会 : 262-0045 千葉市花見川区作新台1-18-5 岩田 好宏  
(電話&FAX:043-259-0317 電子メールアドレス : QWR04020@nifty.ne.jp)

# 子どもと自然学会誌5

(第2巻 第2号)

The Child and Nature

2005年10月25日発行



子どもと自然学会

子どもと自然学会誌 (*The Child and Nature*) 5 (第2巻 第2号)

2005年10月25日発行

## 目次

1-9: 中学校理科における自然観察の価値観の歴史的考察

(安東 久幸)

10-84: 授業「じゅん菜池の今昔 そしてこれから」実践報告

(中谷 治代)

## 入会・購読申込み先

子どもと自然学会事務局: 286-0834 千葉県成田市和田141 吉岡 秀樹方

(電話&FAX: 0476-22-4190 電子メールアドレス: DQF10005@nifty.ne.jp)

## 寄稿等の問い合わせ

学会誌編集委員会: 262-0045 千葉県花見川区作新台1-18-5 岩田 好宏

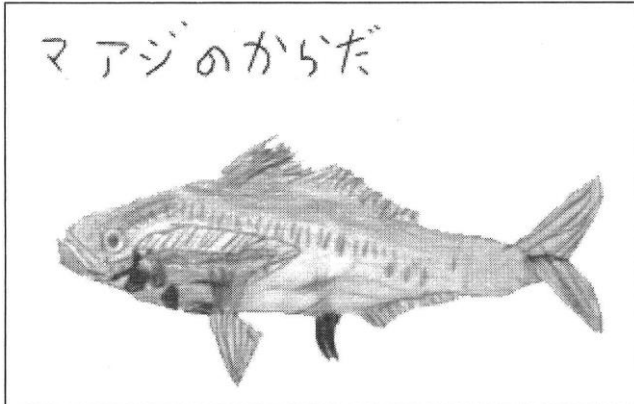
(電話&FAX: 043-259-0317 電子メールアドレス: QWR04020@nifty.ne.jp)

# 子どもと自然学会誌6

(第2巻 第3号)

The Child and Nature

2006年2月28日発行



東大阪市立長瀬西小学校2年 前田大樹：絵

子どもと自然学会

子どもと自然学会誌 (The Child and Nature) 6 (第2巻 第3号)

2006年2月28日発行

## 目次

1-41 : 児童期における生態力学的世界の形成

-事例面接法による発達の研究

(関谷 健)

42-122 : 第3回全国研究大会 (第2回市川大会) 報告

(日程、シンポジウム・一般発表・展示発表の内容)

子どもと自然学会誌規定

子どもと自然学会会則

## 入会・購読申込み先

子どもと自然学会事務局：286-0834 千葉県成田市和田141 吉岡 秀樹方

(電話&FAX：0476-22-4190 電子メールアドレス：DQF10005@nifty.ne.jp)

## 寄稿等の問い合わせ

学会誌編集委員会：262-0045 千葉県花見川区作新台1-18-5 岩田 好宏

(電話&FAX:043-259-0317 電子メールアドレス：QWR04020@nifty.ne.jp)

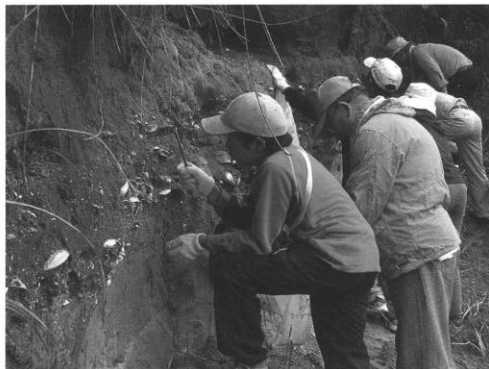
# 子どもと自然学会誌7

(第3巻 第1号)

The Child and Nature

2006年5月28日発行

第5回研究大会(つくば大会)特集号



子どもと自然学会

子どもと自然学会誌(*The Child and Nature*) 7 (第3巻第1号)

2006年5月28日発行

## 目次

- 子どもと自然学会第5回全国研究大会(つくば大会)の概要(2)
- 子どもと自然学会「つくば大会」によせて(5-9)
- つくば大会の見どころ(10-20)
- ものづくり・企画セッションと一般発表(21-131)

子どもと自然学会誌規定

子どもと自然学会会則

## 入会・購読申込み先

子どもと自然学会事務局: 286-0834 千葉県成田市和田1-4-1 吉岡 秀樹方

(電話&FAX: 0476-22-4190 電子メールアドレス: DQF10005@nifty.ne.jp)

## 寄稿等の問い合わせ

学会誌編集委員会: 262-0045 千葉市花見川区作新台1-18-5 岩田 好宏

(電話&FAX: 043-259-0317 電子メールアドレス: QWR04020@nifty.ne.jp)

# 子どもと自然学会誌8

(第3巻 第2号)

The Child and Nature

2006年11月20日発行



真光寺川のでかいザリかニ 吉田 あおい

子どもと自然学会

子どもと自然学会誌 (*The Child and Nature*) 8 (第3巻 第2号)

2006年11月20日発行

## 目次

1—16 : 高度経済成長期の四日市における公害教育の展開

(土井 妙子)

16—80 : 授業実践「農民日誌を読む」の記録

(岩田 好宏)

## 入会・購読申込み先

子どもと自然学会事務局 : 286-0834 千葉県成田市和田141 吉岡 秀樹方

(電話&FAX : 0476-22-4190 電子メールアドレス : DQF10005@nifty.ne.jp)

## 寄稿等の問い合わせ

学会誌編集委員会 : 262-0045 千葉県花見川区作新台1-18-5 岩田 好宏

(電話&FAX:043-259-0317 電子メールアドレス : yoshihiro\_hanamigawa@yahoo.co.jp)



# 子どもと自然学会誌9

(第3巻 第3号)

The Child and Nature

2007年4月20日発行



子どもと自然学会

子どもと自然学会誌 (The Child and Nature) 9 (第3巻 第3号)

2007年4月20日発行

## 目次

岸本 清：酸性性雨を軸にした「水溶液の性質」の実践 (1-10)

第7回研究大会 (さいたま大会) 報告 (11-84)

挨拶 「さいたま大会」開催にあたって (13-14)

### 日程

#### フィールドワーク

- a) 県立秋ヶ瀬公園ピクニックの森 (荒川河川敷) における就学前幼児の散歩・どんぐり料理 (15-16)
- b) 地域との連携による浦和西高校斜面林 (見沼たんぼ) の再生・保全事業 (16-17)
- c) 高沼用水における公園づくり「さいたま真ん中・河童の森」：高沼用水とともに歩む会 (17-18)

#### 一般発表

- A1 満川尚美：小さな学校で出会った大きな自然 四人の子どもたちと (19-32)
- A2 志賀伸三郎：困難 (不登校、引きこもり等) を持った子どもや若者たちの自然とのつきあい (33-34)
- A3 吉岡秀樹：虫嫌いの子ども達 (35-37)
- A4 生源寺孝浩：小学校の気体認識は液体から気体へ「ふくらませ」て (38-39)
- A5 生物教育研究委員会第1期：研究報告その1 総論 (40-42)
- A6 生物教育研究委員会第1期：研究報告 その2「日焼け」から知るオゾン層破壊 (43-44)
- B1 岩田好宏：都市の中にこんな公園を (45-49)
- B2 岡本清志：学校開放講座と地域連携による斜面林保全活動 (50-51)
- B3 市原弘生：「しぜん・生きものクラブ天神川」(エコクラブ) に取り組んで4年 (52-56)
- B4 玉生志郎：大人が子どもに伝えることとその方法 (57-59)
- B5 太田隆司：子どもと楽しむネイチャー=アート (60-61)
- B6 関口広樹：ボクは、生きもの係だ! (62)
- C1 野村 治：子どもの笑顔に国境はない 輝く瞳に会いこいこ (63)
- C2 野田雄大・大館辰矢・金子史典：こうぬま・水と緑を楽しむ会の活動を通して感じたこと (64-65)
- C3 関口いづみ：「ちびっこ探検隊」の原点に戻って (66-69)
- C4 関根菜穂子・山田広子：森のおかしやさんへ伝えたい、生きる自信 (70-73)
- C5 岡本俊英：トトロの森の一年 (74-80)

#### ポスターセッション

- P1 葉山恵津子：野生生物保全教育とは (81-82)
- P2 太田隆司：子どもと楽しむネイチャー=アート (82)

#### 討論集会

安藤聡彦：問題提起「都市に残る緑と子ども (これから考えてみたいこと)」要旨 (83-85)

#### 会則・学会誌刊行・投稿規定

入会・学会誌購読・問合せ先

子どもと自然学会事務局：286-0834 千葉県成田市和田141 吉岡 秀樹方

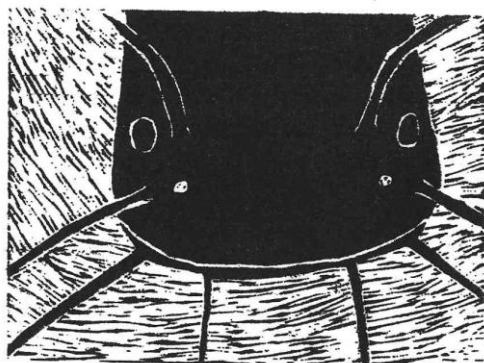
(電話&FAX：0476-22-4190 電子メールアドレス：DQF10005@nifty.ne.jp)

# 子どもと自然学会誌10

(第4巻 第1号)

The Child and Nature

2008年8月28日発行



子どもと自然学会

子どもと自然学会誌 (The Child and Nature) 10

(第4巻第1号 2008年8月28日発行)

## 目次

### 第一部

樽井 一樹: ぼくが農業を始めた理由(1-2)

石渡 正志: 森林開発をめぐる価値観の対立を扱った授業の効果(3-12)  
—生徒の価値観の変容に焦点をあてて—

加藤美由紀: 高校生と教師の「生物の保全」に対する捉え方(13-43)  
小澤紀美子: 一野外の生物に対する認識と生物の保全理由の分析から—

加藤美由紀: 自然への身近さと生物を保全したい理由(44-69)  
小澤紀美子: 一高校生と保全活動に参加する人たちへのアンケート調査の結果から—

生源寺孝浩: 小学校5年生「力の学習」[1](71-147)  
—授業実践のテープ起こし 1~13時間目—

野島 通紀: 授業「里山創生と地域生態系」実践報告(149-172)  
—「森林創生」学習における若者の発達成長と学習環境改造の一体化の取組—その2

神山 智美: ゲーム、メディアと外来甲虫(173-195)  
—子どもをめぐる「文化」の一断面—

### 第二部

子どもと自然学会第9回全国研究大会 in 多摩 報告(1-76)

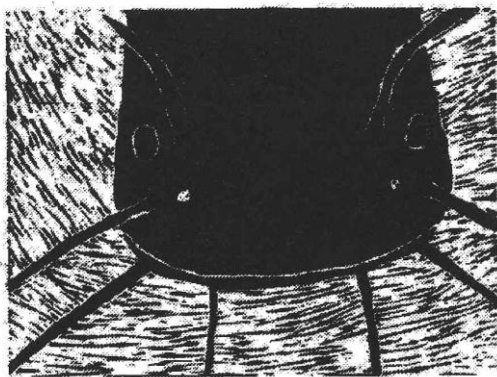
入会・購読申し込み先/子どもと自然学会事務局: 286-0834 成田市和田141  
吉岡 秀樹方(電話& FAX: 0476-22-4190 E-mail: DQF10005@nifty.ne.jp)  
寄稿等の問い合わせ/学会誌編集委員会: 611-0002 宇治市木幡平尾27-480  
生源寺孝浩(電話& FAX: 0774-33-2968 E-mail: shogenji@m5.kcn.ne.jp)

# 子どもと自然学会誌11

(第5巻 第1号)

The Child and Nature

2009年11月30日発行



子どもと自然学会

子どもと自然学会誌 (The Child and Nature) 11

(第5巻第1号 2009年11月30日発行)

## 目次

- 大森 享：学校環境教育の原理的考察と学校教育転換の一提言 (1-13)  
—地域(生活・自然)を学習対象に学びと活動を統一する—
- 中谷 治代：授業実践報告「日焼け」から知るオゾン層破壊 (14-28)
- 植田 一夫：5年生社会・総合学習「稲・イネWorld」(29-69)

\* \* \*

### 子どもと自然学会第10回 北海道・釧路大会

基調講演「日本の自然保護教育から受け継ぐこと」小川潔 (71-89)

シンポジウム「人間・子どもは野生とどうかかわるか」(90-132)

三膳時子(霧多布湿原トラスト理事長) / 秋辺得平(社団法人北海道ウタリ協会副理事長、釧路支部長) / 高橋忠一(北海道教育大学釧路校教員) / 小川潔(東京学芸大学教員) / 大森享(北海道教育大学釧路校教員)

### 子どもと自然学会第11回 なべくら高原 飯山大会

シンポジウム「子どもの自然体験を支援する」(133-186)

三上周治(奈良教育大学附属小学校教員) / 木村宏(なべくら高原・森の家) / 草間理恵子(エコクラブ Discover Nature 代表サポーター&NOW-ネット代表) / 大島英樹(立正大学教員) / 渡辺隆一(信州大学教員)

### 入会・購読申し込み先/子どもと自然学会事務局:

〒630-2166 奈良市矢田原町乙233 園部勝章 方

(電話&FAX: 0742-81-0378 E-mail: miinana205@yahoo.co.jp)

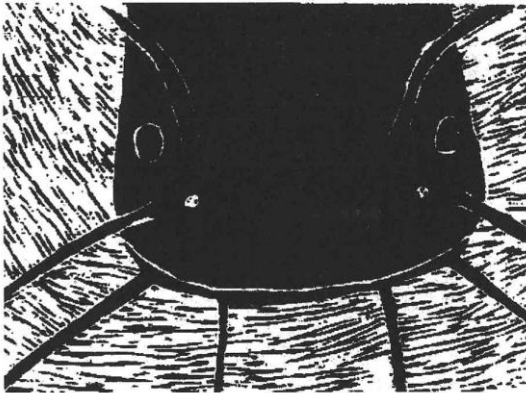
寄稿等の問い合わせ/学会誌等連絡先: 611-0002 宇治市木幡平尾27-480  
生源寺孝浩(電話&FAX: 0774-33-2968 E-mail: shogenji@m5.kcn.ne.jp)

# 子どもと自然学会誌12

(第6巻 第1号)

The Child and Nature

2011年4月30日発行



子どもと自然学会

子どもと自然学会誌 (The Child and Nature) 12

(第6巻第1号 2011年4月30日発行)

## 目次

安東 久幸：終戦までの「子どもの歌」に投影された生物像 (1-16)

渡辺 隆一：長野市における野生生物教育の事例 (17-20)

玉生 志郎：小中学生の地質標本俳句 —俳句の教育的効果— (21-46)

\* \* \*

子どもと自然学会 第12回全国研究大会 in 京都山科 報告 (47-119)

入会・購買申込先/子どもと自然学会事務局：

〒611-0002 宇治市木幡平尾27-480 生源寺孝浩

(電話&FAX：0774-33-2968 E-mail：shogenji@mail5.kcn.ne.jp)

寄稿等の問い合わせ/学会誌等連絡先：

〒305-0045 つくば市梅園2-13-17 玉生志郎

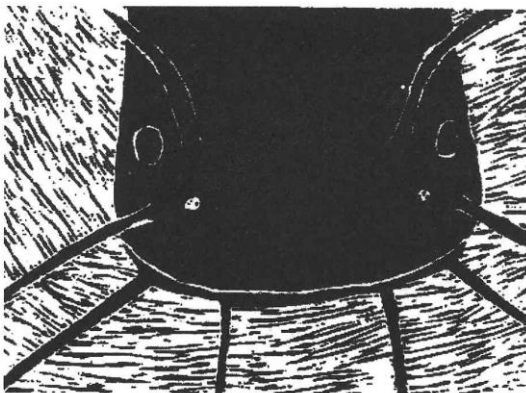
(電話&FAX：029-851-9914 E-mail：stamanyu@mail1.accsnet.ne.jp)

# 子どもと自然学会誌13

(第7巻 第1号)

The Child and Nature

2012年1月31日発行



子どもと自然学会

子どもと自然学会誌 (The Child and Nature) 13

(第7巻第1号 2012年1月31日発行)

## 目次

岩田 好宏：山形県大井沢小中学校実践の分析 (1-25)

安東 久幸：明治初期から終戦までの‘子どものための昔話’に投影された  
生物像 (26-42)

竹下清一郎・新沼 湊：市川・若者大会シンポジウムで出た課題とキーワード  
～ “「問」と「答」との間” の冒険～ (43-49)

市川・若者大会シンポジウムのテープ起こし (50-86)

子どもと自然学会 第14回全国研究大会 in 市川 報告 (87-196)

入会・購買申込先/子どもと自然学会事務局：

〒611-0002 宇治市木幡平尾27-480 生源寺孝浩

(電話&FAX：0774-33-2968 E-mail：shogen.ji@m5.kcn.ne.jp)

寄稿等の問い合わせ/学会誌編集委員：

〒305-0045 つくば市梅園2-13-17 玉生志郎

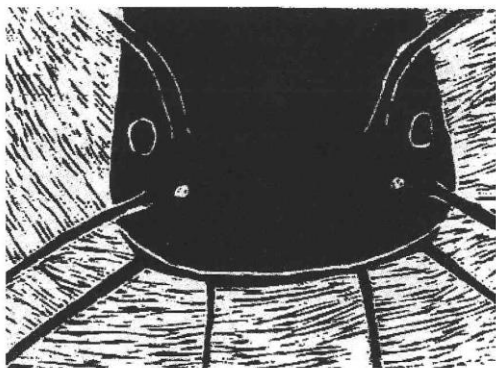
(電話&FAX：029-851-9914 E-mail：stamanyu@mail1.accsnet.ne.jp)

# 子どもと自然学会誌 14

(第8巻 第1号)

The Child and Nature

2013年4月30日発行



子どもと自然学会

子どもと自然学会誌(The Child and Nature) 14

(第8巻第1号 2013年4月30日)

## 目次

- 安東 久幸：災害における児童生徒の自然認識の形成  
— 特に地震の災害を中心に — (1-18)
- 玉井 裕和：『科学史を活かした光合成への授業』 (19-33)
- ゴゴンタナ：『日本における地球温暖化対策について』 (34-63)
- 子どもと自然学会 第16回全国研究大会 in 神戸 報告 (64-140)
- 子どもと自然学会 第17回全国研究大会 in 長野 報告 (141-247)

入会・購買申込先/子どもと自然学会事務局：

〒611-0002 宇治市木幡平尾27-480 生源寺孝浩

(電話/FAX:0774-33-2968 E-mail: shogenji@m5.kcn.ne.jp)

寄稿等の問い合わせ/学会誌編集委員会委員長：

大森 享

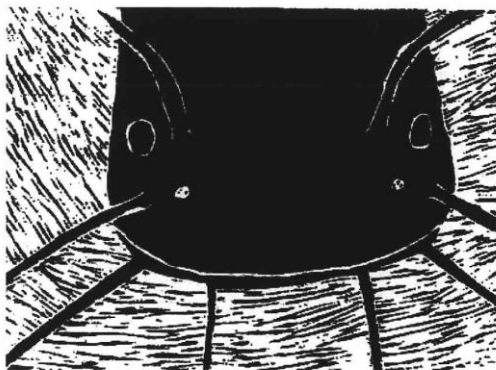
(電話/FAX:0154-44-3362 E-mail:susumu@kus.hokkyodai.ac.jp)

# 子どもと自然学会誌 15

(第9巻 第1号)

The Child and Nature

2014年4月30日発行



子どもと自然学会

子どもと自然学会誌(The Child and Nature) 15

(第9巻第1号 2014年4月30日)

## 目次

- 安東 久幸：児童の「生物は生きている」という認識形成の過程と意義 (1-10)
- 稲生 勝：「公害は終わった」論への疑問 (11-20)
- 岩田好宏・杉山栄一・中谷治代・吉岡秀樹・石渡正志：  
学習指導要領試案「人間(わたし)と生物世界」の概要  
— 子どもと自然学会生物教育研究委員会中間報告 — (21-65)
- カガントヤ：日本における野生鳥獣被害と日本の農業政策 (66-80)
- 玉井 裕和：小学校理科で静電気の学習を  
第1部 科教協における中学校電気学習の60年を総括する (81-103)
- 生源寺孝浩：聴診器で変動磁場を聞く  
— 「フォルマル線大型コイルの製作」顛末記 — (105-124)
- 渡辺 隆一：「命の連続性」の授業実践 (125-126)
- 鈴木 一正：放射能からの保養プログラム：兵庫県内の団体の  
取り組みを通じて (127-145)
- 生源寺千加子：子どもと自然 親の願い・子の願い (146-155)

入会・購買申込先／子どもと自然学会事務局：

〒611-0002 宇治市木幡平尾27-480 生源寺孝浩  
(電話/FAX:0774-33-2968 E-mail: shogenji@m5.kcn.ne.jp)

寄稿等の問い合わせ／学会誌編集委員会委員長：

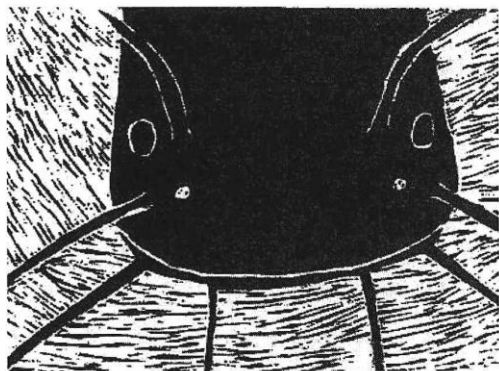
大森 享  
(電話/FAX:0154-44-3362 E-mail:susumu@kus.hokkyodai.ac.jp)

# 子どもと自然学会誌 16

(第10巻 第1号)

The Child and Nature

2015年3月27日発行



子どもと自然学会

子どもと自然学会誌(The Child and Nature) 16

(第10巻第1号 2015年3月27日)

## 目次

- 生源寺孝浩：大学生もやっぱり“アナログ”的に育つ  
教科教育法（理科）の授業を通し見えてきたこと（1-31）
- 郡司 晴元・佐藤 瑞穂：  
地域子ども教室から大塚池探検隊まで  
学生による地域実践・10年の記録（32-47）
- 深谷 昌道：『環境リテラシー』-第2版-を教科書として（48-63）
- 鈴木 一正：福島原発事故による避難者の実態：現状と課題（64-77）
- 生源寺千加子：子どものくらしと表現（79-95）

入会・購買申込先/子どもと自然学会事務局：

〒611-0002 宇治市木幡平尾27-480 生源寺孝浩  
(電話/FAX:0774-33-2968 E-mail: shogenji@m5.kcn.ne.jp)

寄稿等の問い合わせ/学会誌編集委員会委員長：

大森 享  
(電話/FAX:0154-44-3362 E-mail:susumu@kus.hokkyodai.ac.jp)

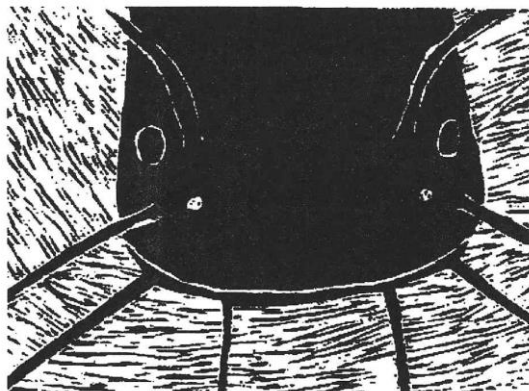


# 子どもと自然学会誌17

(第11巻 第1号)

The Child and Nature

2016年3月31日発行



子どもと自然学会

子どもと自然学会誌 (The Child and Nature) 17

(第11巻第1号 2016年3月31日発行)

## 目次

岩田 好宏：授業「学習課題の選定」報告 (1-23)

田中 稔・石渡 正志：保育士・幼稚園教諭に必要とされる運動能力の育成  
—大学の養成課程での体育の指導を通して— (24-36)

玉井 裕和：「生き方を支える物理教育研究会」経過報告  
—これまでとこれから— (37-70)

杉山 栄一：理科支援の「学習サポーター」がみた小学校理科の課題  
—授業改善への道を探る— (71-84)

藤岡貞彦・岩田好宏対談「生きることと学ぶこと」 (85-112)

子どもと自然学会 第23回全国研究大会 in 湘南 報告 (113-182)

入会・購買申込先／子どもと自然学会事務局：

〒272-0835 千葉県市川市中国分4-18-10 中谷 治代  
(電話&FAX：047-373-1431 E-mail：yfa71772@nifty.com)

寄稿等の問い合わせ／学会誌編集委員会委員長：

〒658-0001 神戸市東灘区森北町6-2-23  
甲南女子大学 人間科学部 石渡 正志  
(電話&FAX：078-413-3144 E-mail：ishi07064@yahoo.co.jp)

# 子どもと自然学会誌18

(第12巻 第1号)

The Child and Nature

2017年3月31日発行



子どもと自然学会

子どもと自然学会誌 (The Child and Nature) 18

(第12巻第1号 2017年3月31日発行)

## 目次

### 〈実践報告〉

升光 悠太：学校安全教育の可能性  
—公立小学校での実践を通して— (1-12)

岩田 好宏：地域づくり学習指導はどのようにすれば実現可能か (13-36)

### 〈修士論文〉

莫徳格：日本における大気汚染問題 (37-54)

### 〈大会報告〉

子どもと自然学会 第25回全国研究大会 in 水戸 報告 (55-117)

### 入会・購読申込先/子どもと自然学会事務局：

〒272-0835 千葉県市川市中国分4-18-10 中谷 治代  
(電話&FAX：047-373-1431 E-mail：yfa71772@nifty.com)

### 寄稿等の問い合わせ/学会誌編集委員会委員長：

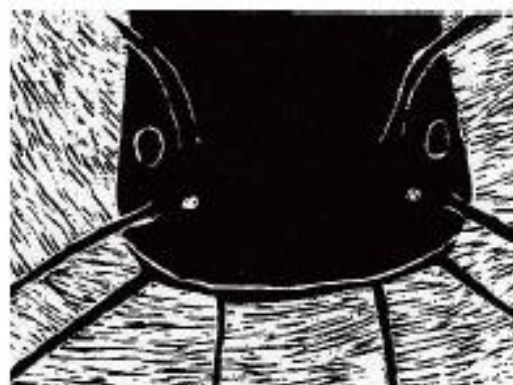
〒658-0001 神戸市東灘区森北町6-2-23  
甲南女子大学 人間科学部 石渡 正志  
(電話&FAX：078-413-3144 E-mail：ishi07064@yahoo.co.jp)

# 子どもと自然学会誌19

(第12巻 第2号)

The Child and Nature

2017年6月30日発行



子どもと自然学会

子どもと自然学会誌 (The Child and Nature) 19

(第12巻第2号 2017年6月30日発行)

## 目次

### <総論>

吉岡 秀樹：真船和夫氏と岩田好宏氏の生物学教育論（2005年）以降、  
『理科教室』誌に掲載された理科教育論を概観する（1-14）

### <主張>

生源寺 孝浩：理科授業評価基礎論〔1〕  
—指導計画は子どもにわかるように作られていなければならない—（15-27）  
稲生 勝：「ラプラスの悪魔」の思想的意味  
—近代的自然観の帰結としての「ラプラスの悪魔」—（28-33）

### <実践報告>

植田 一夫：太陽の不思議  
—系統性を重視し、くらしとの関わりを大切に理科教育—（34-44）  
野村 治：子どもの自然体験と認識形成  
—昆虫の採集・観察・飼育を通して—（45-54）  
富士 楓葉・鎌山 邦子：知床自然教室が子どもたちにもたらす影響（55-69）

### <資料>

石渡 正志：小学校理科における実験・観察の難易度と具体的支障  
—小学校教員へのアンケート調査から—（70-88）  
野村 治：昆虫の生活史における越冬期の成長段階と越冬場所の環境（89-96）  
鈴木 一正：福島原発事故による放射性能からの保護プログラムの  
実施状況：2016年夏休みと2013年夏休みの比較（97-105）

入会・購読申込先/子どもと自然学会事務局：

〒272-0835 千葉県市川市中国分4-18-10 中谷 治代  
(電話&FAX：047-873-1431 E-mail：yfa71772@nifty.com)

寄稿等の問い合わせ/学会誌編集委員会委員長：

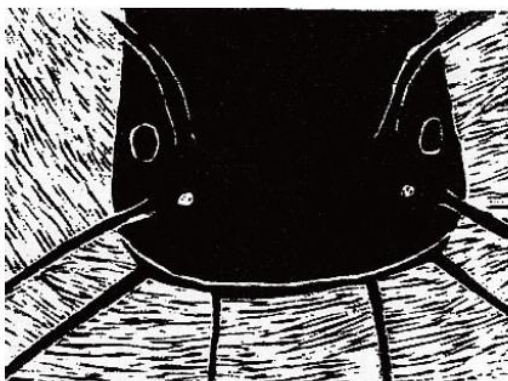
〒658-0001 神戸市東灘区森北町6-2-23  
甲南女子大学 人間科学部 石渡 正志  
(電話&FAX：078-413-3144 E-mail：ishi07064@yahoo.co.jp)

# 子どもと自然学会誌20

(第13巻 第1号)

The Child and Nature

2018年3月31日発行



子どもと自然学会

子どもと自然学会誌 (The Child and Nature) 20

(第13巻第1号 2018年3月31日発行)

## 目次

### <研究ノート>

鈴木 一正：保養プログラムの役割の変遷：福島原発事故発生から6年間にふり返って (1-8)

### <主張>

岩田 好宏：学校での「本学び」実現のための学習指導 (9-22)

### <実践報告>

玉生 志郎：残留放射能 一原爆瓦と福島原発事故一 (23-36)

河野 崇：E S Dの概念を取り入れた環境教育の授業実践  
—「学区の稲作農家」を教材として— (37-50)

### <資料>

高橋 慎司・高橋 亮平：電気パンの可能性 (51-58)

石渡 正志：保育士・幼稚園教員養成課程学生の身近な動植物に対する認知度と関心 (59-67)

金田 祐佳・生源寺 孝浩・玉井 裕和：鼎談 三稗人“電磁石”問答 (68-97)

### <大会報告>

子どもと自然学会 第27回全国研究大会 東大阪大会 (98-157)

### 入会・購買申込先/子どもと自然学会事務局：

〒272-0835 千葉県市川市中国分4-18-10 中谷 治代

(電話&FAX：047-373-1431 E-mail：yfa71772@nifty.com)

### 寄稿等の問い合わせ/学会誌編集委員会委員長：

〒658-0001 神戸市東灘区森北町6-2-23

甲南女子大学 人間科学部 石渡 正志

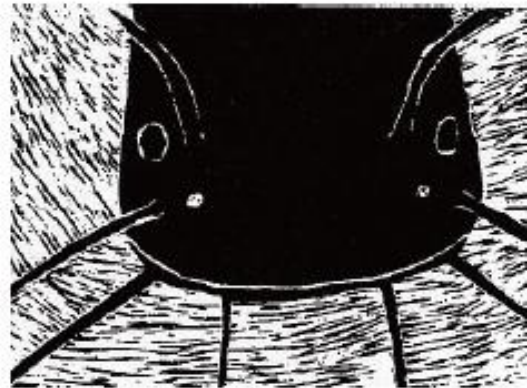
(電話&FAX：078-413-3144 E-mail：ishi07064@yahoo.co.jp)

# 子どもと自然学会誌21

(第14巻 第1号)

The Child and Nature

2019年3月31日発行



子どもと自然学会

子どもと自然学会誌 (The Child and Nature) 21

(第14巻第1号 2019年3月31日発行)

## 目次

### <研究論文>

津野 佑規・長谷川英夫・水島 智史：  
高等学校農業科におけるSDGsの視点を取り入れたライフサイクル思考環境  
教育プログラムの開発および授業実践 (1-9)

### <主張>

岩田 好宏：学習助成「生き方としての自然とのかかわり」12年計画の構想 (10-39)

### <実践報告>

湊 秋作・養場菜留果・黒田 あや・安達 美樹・西川 ミオ・鳥屋 尾雄・三澤 裕美：  
田んぼのようちえん＝聖ヨハネ保育園の実践＝ (40-56)

河野 崇：問題解決的な学習に基づく生活科の授業実践  
—生活科2年「もっとなかよしまちたんけん」の実践を通して— (57-73)

### <資料>

高橋 慎司・高橋 亮平：電気パンの可能性II (74-78)

鈴木 一正：福島原発事故における保養プログラム

インタビュー調査を通して明らかになった7年目までの現状と課題 (79-96)

中谷 治代：高校生の訴え「恐るべき放射能の影響」 (96-103)

### <大会報告>

子どもと自然学会 第28回全国研究大会 武蔵嵐山大会 (104-152)

子どもと自然学会 第29回全国研究大会 長良大会 (153-167)

### 入会・購読申込先/子どもと自然学会事務局：

〒120-0022 東京都足立区柳原1-9-13 大森 享

(電話&FAX：03-38881-4657 E-mail：omori.susumu@k.hokkyodai.ac.jp)

### 投稿問合せ/学会誌編集委員会委員長：

〒658-0001 神戸市東灘区森北町6-2-23

甲南女子大学 人間科学部 石渡 正志

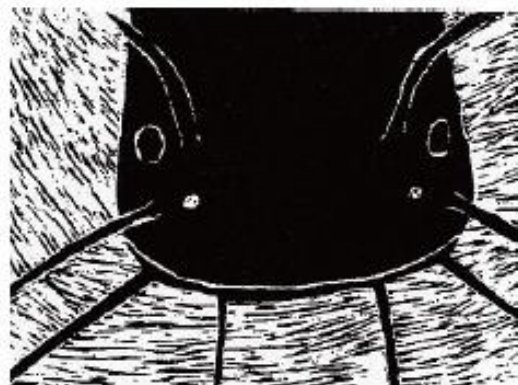
(電話&FAX：078-413-3144 E-mail：ishi07064@yahoo.co.jp)

# 子どもと自然学会誌22

(第15巻 第1号)

The Child and Nature

2020年3月31日発行



子どもと自然学会

子どもと自然学会誌 (The Child and Nature) 22

(第15巻第1号 2020年3月31日発行)

## 目次

### <研究論文>

津野 佑規・長谷川英夫・水島 智史・矢野 悠紀：  
森林を専門に学ぶ高校生を対象としたSDGs環境教育プログラムの開発  
および授業実践 (1-11)

### <論考>

岩田 好宏：子どもの自然遊びの人間学的考察 (12-25)

### <実践報告>

加藤美由紀・倉本 宣：身のまわりの生物多様性保全についての普及活動  
—こまエコマつりでの実践報告— (26-32)

### <資料>

岸本 清明：地の利を生かした兵庫県加東市の昭和池と鴨川ダム (33-44)  
居崎 時江：英国の自然保全・自然体験促進の取り組み (45-52)

### <卒業論文>

大澤 純平・諫山 邦子：UDL (学びのユニバーサルデザイン) ガイドラインと  
協同学習を視野に入れた小学校理科における授業展開の一例 (53-80)  
古我知拓也・諫山 邦子：小学校における主権者教育の検討と提案  
—沖縄米軍基地問題を例に— (81-91)  
松本 実来・石渡 正志：女子大学生の幼少期の恐怖対象 (92-95)

### <大会報告>

子どもと自然学会 第30回全国研究大会 香川小豆島大会 (96-141)  
子どもと自然学会 第31回全国研究大会 東京東久留米大会 (142-204)

### 入会・購買申込先/子どもと自然学会事務局：

〒120-0022 東京都足立区柳原1-9-13 大森 享  
(電話&FAX: 03-38881-4657 E-mail: omori.susumu@k.hokkyodai.ac.jp)

### 投稿問合せ/学会誌編集委員会委員長：

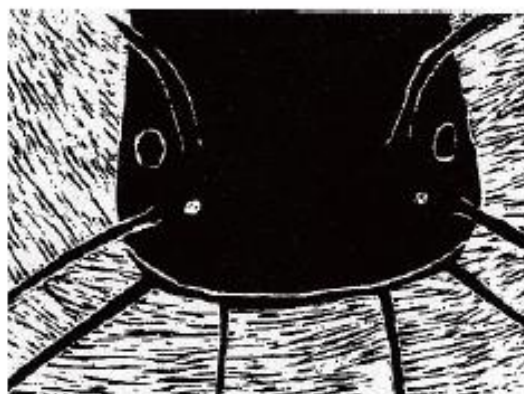
〒658-0001 神戸市東灘区森北町6-2-23  
甲南女子大学 人間科学部 石渡 正志  
(電話&FAX: 078-413-3144 E-mail: ishi07064@yahoo.co.jp)

# 子どもと自然学会誌23

(第16巻 第1号)

The Child and Nature

2021年3月31日発行



子どもと自然学会

子どもと自然学会誌 (The Child and Nature) 23

(第16巻第1号 2021年3月31日発行)

## 目次

### <実践報告>

津野 佑規・長谷川 英夫・水島 智史：  
高等学校農業科における食農教育の視点を取り入れたライフサイクル思考  
環境教育プログラムの開発 (1-7)

### <研究ノート>

三石 初雄：原体験教育と授業での「深い学び」往還の可能性を探る  
—自然に関わることの教育的価値の学校史的探究— (8-29)

### <論考>

岩田 好宏：「子どもと自然遊び」基礎論—学びとの関係から— (30-44)

### <提案>

大森 徹治：「自然の価値」の理解を深める水中生態系の可視化  
—潜水での水中観察と総合的な水中博物館構想— (45-65)

### <資料>

居崎 時江：農村・過疎地における自然体験活動の課題 (66-75)

鈴木 一正：福島原発事故における保養プログラムの推移—2013年度、2016年度、  
2019年度の実施状況の比較— (76-87)

渡辺 隆一：小学校のクラブ活動での環境教育 (88-92)

### <修士論文>

歌 海舟：「新自由主義」下の日本の公害 (93-107)

月 亮：日本の森林問題と森林政策 (108-123)

### <短報>

大森 徹治：新型コロナウイルス影響下に海中の生き物を通して「自然の価値」を再考  
(124-125)

### <大会報告>

展望を語る会 (127-212)

入会・購買申込先/子どもと自然学会事務局：

〒120-0022 東京都足立区柳原1-9-13 大森 享

(電話&FAX: 03-38881-4657 E-mail: omori.susumu@k.hokkyoda.ac.jp)

投稿問合せ/学会誌編集委員会委員長：

〒658-0001 神戸市東灘区森北町6-2-23

甲南女子大学 人間科学部 石渡 正志

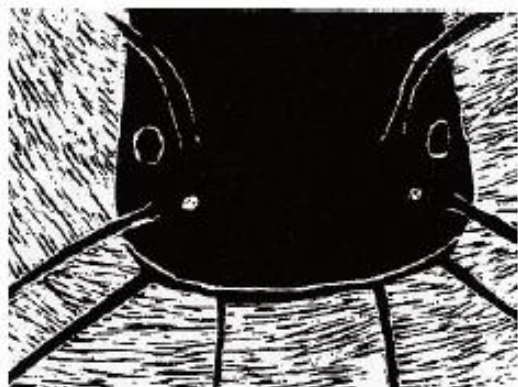
(電話&FAX: 078-413-3144 E-mail: ishi07064@yashoo.co.jp)

# 子どもと自然学会誌24

(第17巻 第1号)

The Child and Nature

2022年4月30日発行



子どもと自然学会

子どもと自然学会誌 (The Child and Nature) 24

(第17巻 第1号 2022年4月30日発行)

## 目次

### <研究論文>

大森 享：社会変革を視野に教育を問う  
—自分をつくること・社会をつくることを統一する教育創造— (1-17)

### <研究ノート>

林 一晟・津野 佑規：  
環境問題を扱う説明的文章の読解・環境リテラシーの分析及び  
普通科と農業科の交流の効果 (18-27)

三石 初雄：まど・みちお作品と子どもの“内発的”自発性 (28-43)

大森 徹治：沖縄に学ぶ格差社会緩和に向けた環境保全活動などを日常時間に取り込む  
社会の転換について (44-63)

### <主張>

生原寺孝浩：子どもたちを“み・は・じ”から解放する「速さ」の学習をめざして (64-86)

### <実践報告>

津野 佑規・長谷川英夫・水島 智史・石井 巧：  
遠隔授業における「温室効果ガスの見える化」の教材化 (87-96)

長友 志航：子どもたちが思わず人に話したくなる学びをもとめて  
—綿花を題材にした生活科の授業実践— (97-106)

### <資料>

石渡 正志：小・中・高等学校の学習指導要領解説(理科編)に見るSDGs (107-115)

### <報告>

生物教育研究委員会：  
学校の再構築としての学習助成12年計画試案  
—報告書第1次稿検討会から得たもの— (116-147)

### <大会報告>

北海道羅臼大会 (148-215) / 長野大会プレ研究会 (216-239) / 長野大会 (240-269)

発行人：〒120-0022 東京都足立区柳原1-9-13 大森 享  
(電話&FAX：03-3881-4657 E-mail: oomori.susumu123@gmail.com)

学会事務局：〒658-0003 兵庫県神戸市東灘区本山北町2-9-13 石渡 正志  
(電話&FAX：078-413-3144 E-mail: kodomotoshizen2003@gmail.com)

編集委員会：〒168-0074 東京都杉並区上高井戸3-4-14 三石 初雄  
(E-mail: yptyb624@yahoo.co.jp)

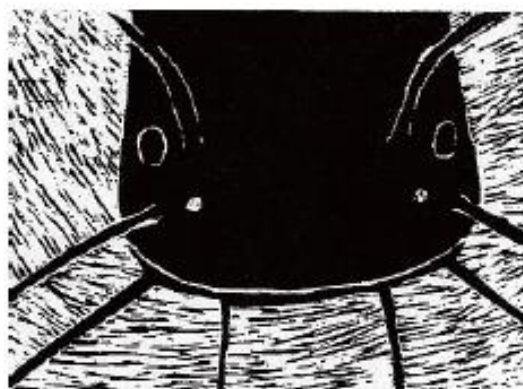


# 子どもと自然学会誌25

(第18巻 第1号)

The Child and Nature

2023年3月31日発行



子どもと自然学会

子どもと自然学会誌 (The Child and Nature) 25

(第18巻 第1号 2023年3月31日発行)

## 目次

### <研究ノート>

三石 初雄: “もの・自然に関わること” と  
知的好奇心の発達に関する一考察 (1-14)

### <実践研究論文>

加藤 美由紀・倉本 寛:  
見近な公園の植物を活用した環境教育活動 (15-24)

### <提案>

大森 徹治: 「自然の見せる化」の概念整理と防災への適応例 (25-60)

### <覚え書き>

岩田 好宏: 遊びと学び・はたらきかけ  
—子どもの自然遊びを考えるための覚え書き— (61-65)

### <実践報告>

中村 俊哉: 島田市田代地区における生物多様性保全の事例を教材とした授業実践  
—島田市立川根小学校の出張授業を通して— (66-75)

伊東 大介: 小学校4年理科「月や星の見え方」を  
特に国語科との関連で扱った授業事例報告 (76-81)

### <資料>

高橋 亮平: 交響曲『宗教改革』の版における違い  
—ペーレンライター版初版及び4版を比較して— (82-108)

高橋 慎司: 教科外教育から総合学習へ  
—湘南学園小学校教育現場の30年の中で— (109-127)

### <大会報告>

京田辺大会 (128-174) / 埼玉所沢大会 (175-197)

発行人: 〒120-0022 東京都足立区柳原1-9-13 大森 享  
(電話&FAX: 03-3881-4657 E-mail: oomori.susumu123@gmail.com)

学会事務局: 〒658-0003 兵庫県神戸市東灘区本山北町2-9-13 石渡 正志  
(電話&FAX: 078-413-3144 E-mail: kodomotoshizen2003@gmail.com)

編集委員会: 〒168-0074 東京都杉並区上高井戸3-4-14 三石 初雄  
(E-mail: yptyb624@yahoo.co.jp)

